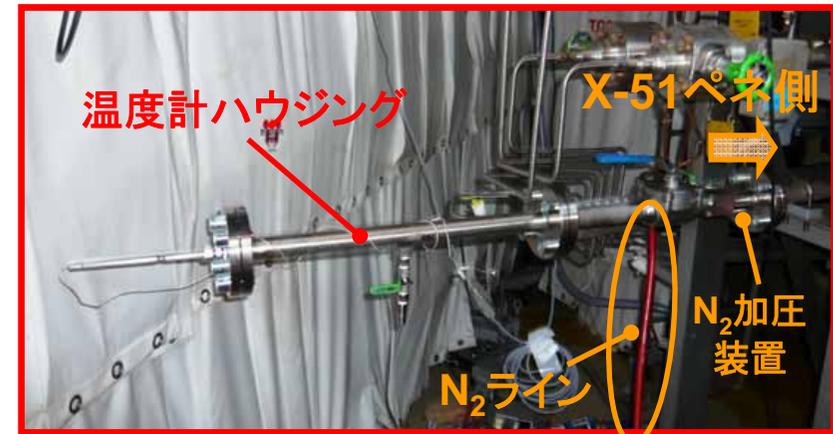
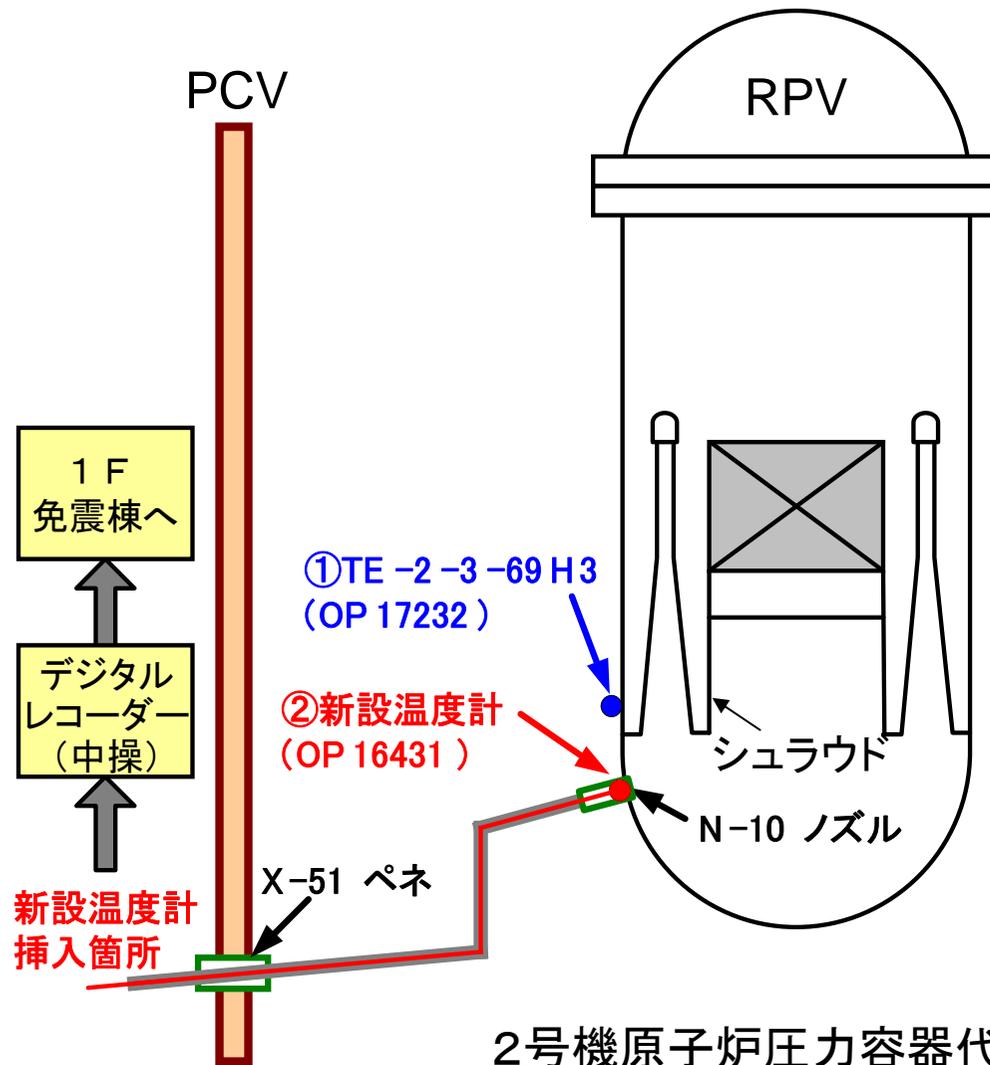


# リスク低減方策のイメージ

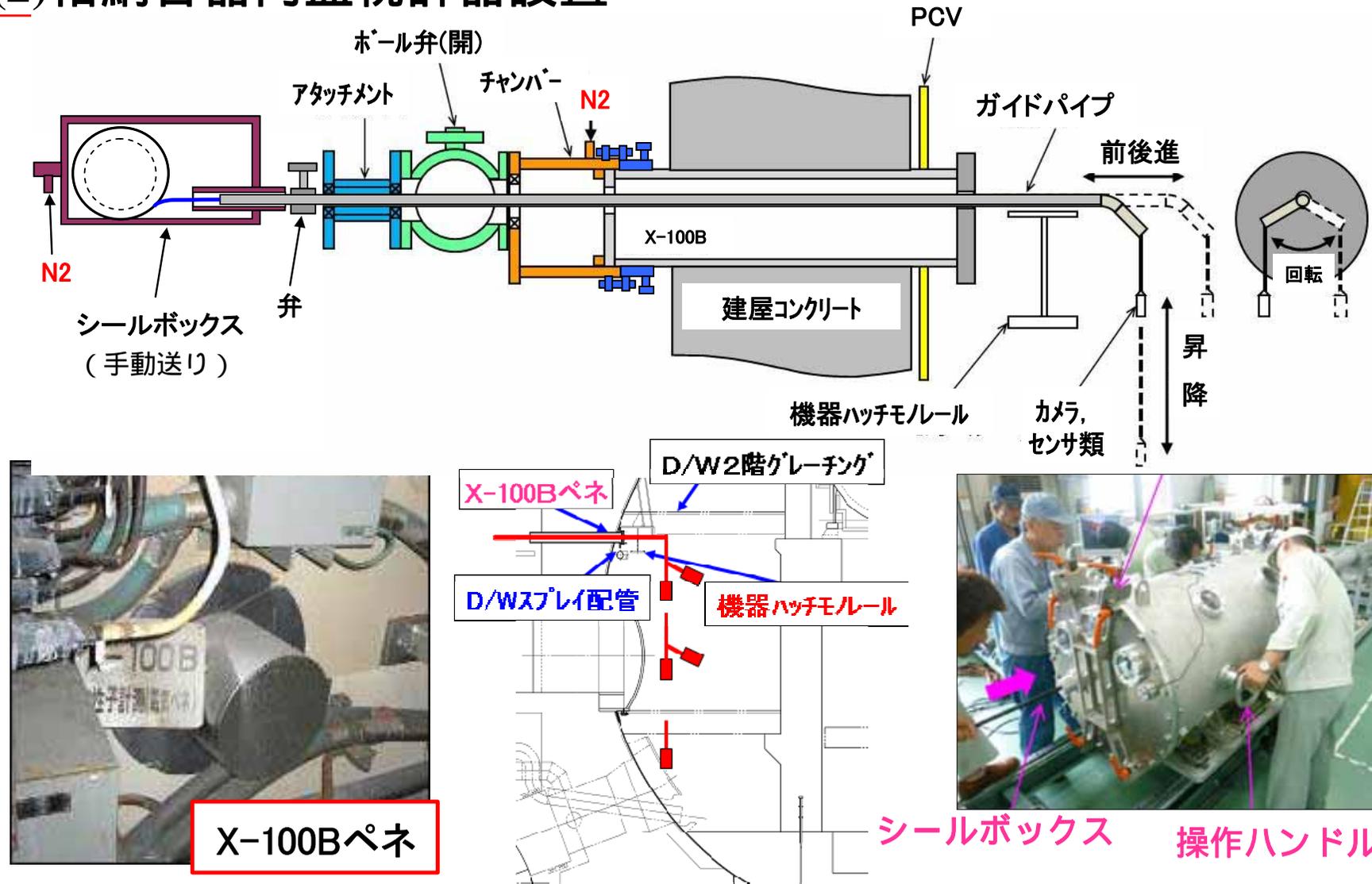
## (1)原子炉圧力容器代替温度計の新設



2号機原子炉圧力容器代替温度計の設置

# リスク低減方策のイメージ

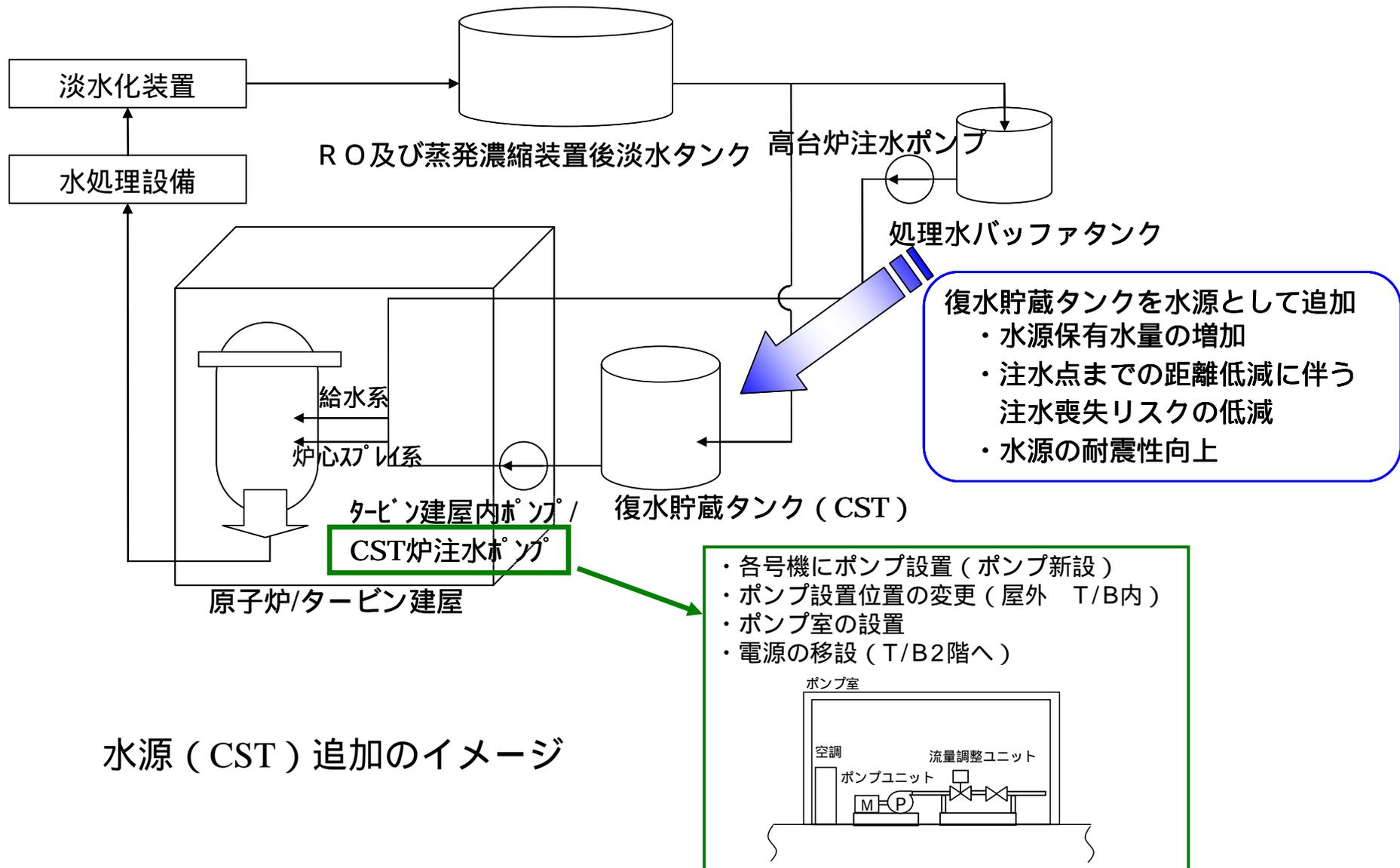
## (2)格納容器内監視計器設置



1号機原子炉原子炉格納容器内監視計測器設置

# リスク低減方策のイメージ

## (3)復水貯蔵タンクへの運用変更

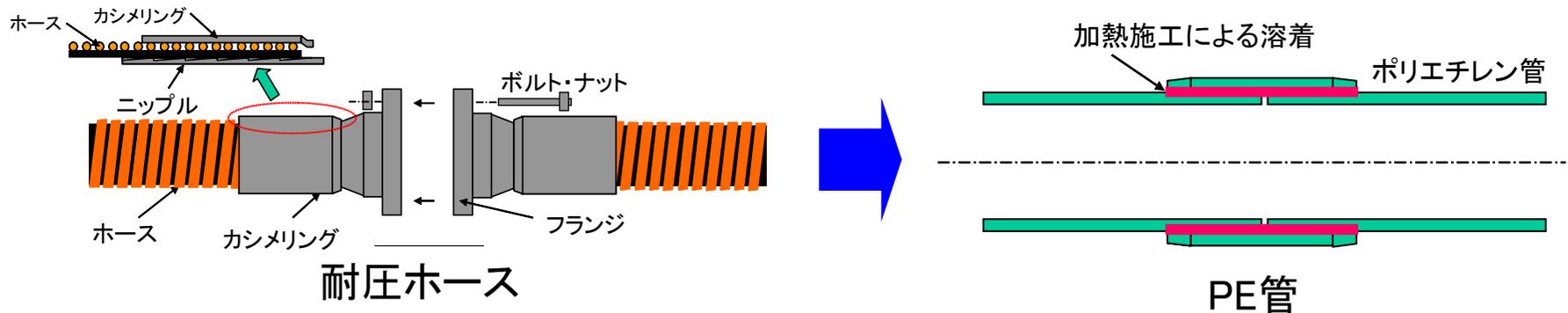


水源 (CST) 追加のイメージ

# リスク低減方策のイメージ

## (4) 滞留水、処理水の漏えいポテンシャルの低減(1/2)

### ① 耐圧ホースのPE管化



### ② 漏えい検知器及び監視カメラ設置



漏えい検知器(例)



タンクエリア監視カメラの例

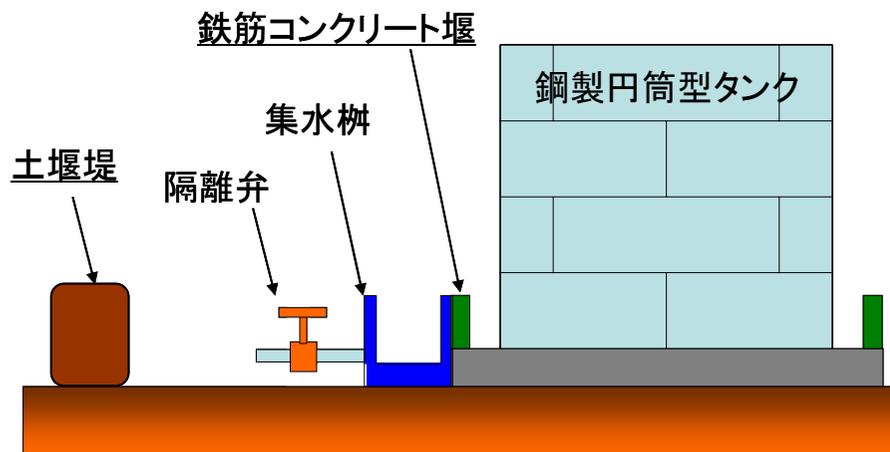
# リスク低減方策のイメージ

## (4) 滞留水、処理水の漏えいポテンシャルの低減(2/2)

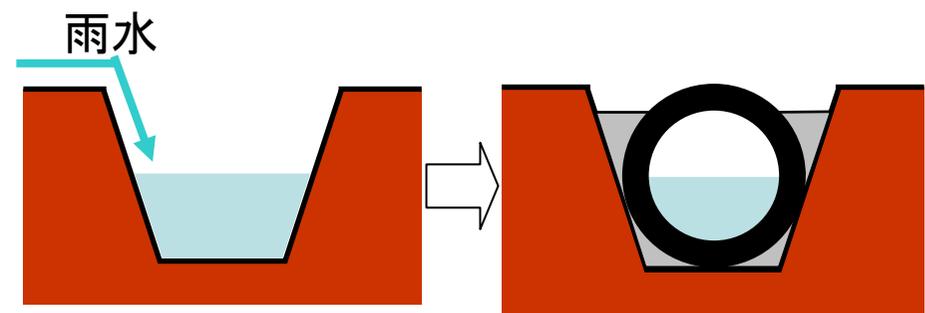
### ③ タンク廻りの堰、土嚢堰の設置



堰

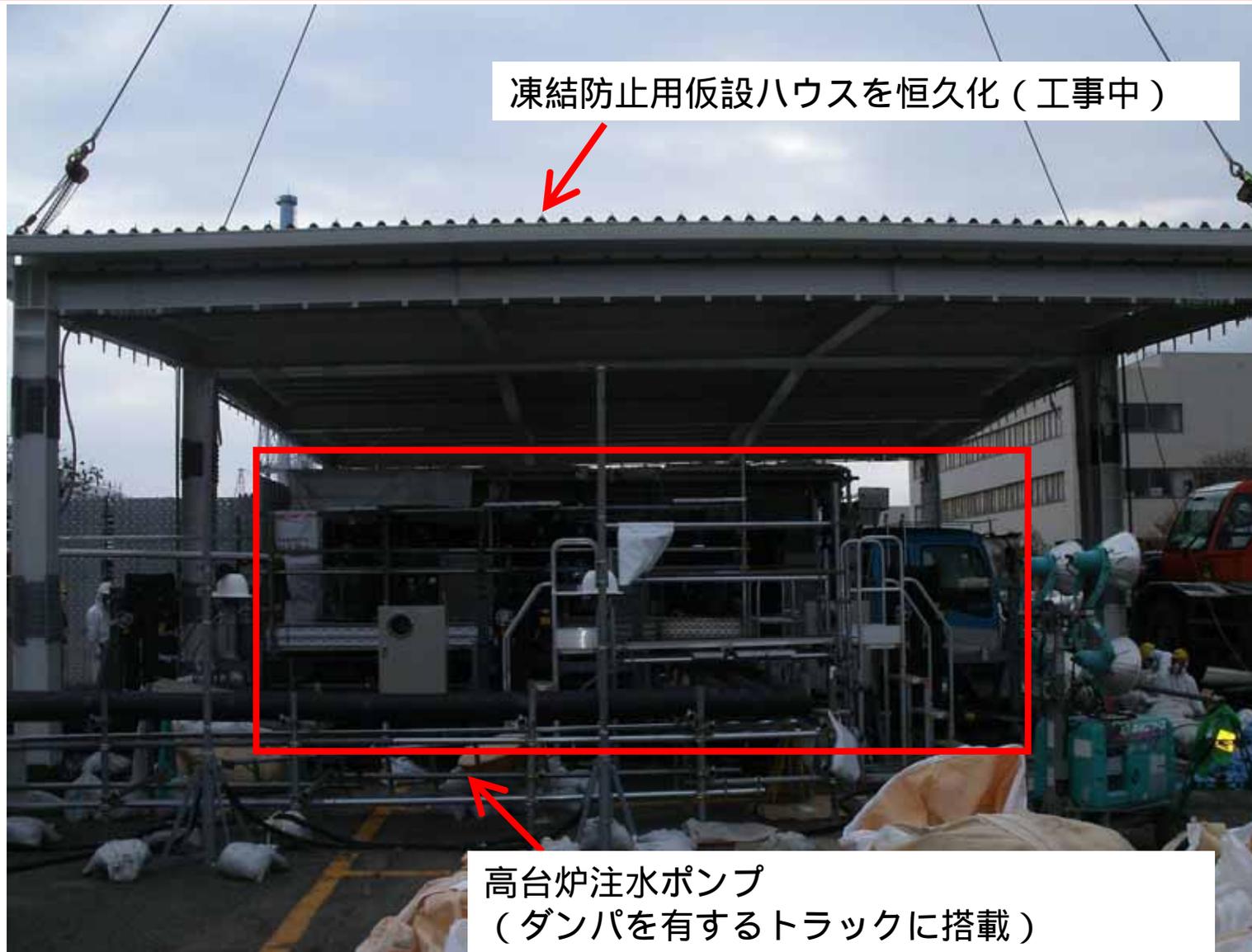


### ④ タンク設置エリア付近の排水路の暗渠化



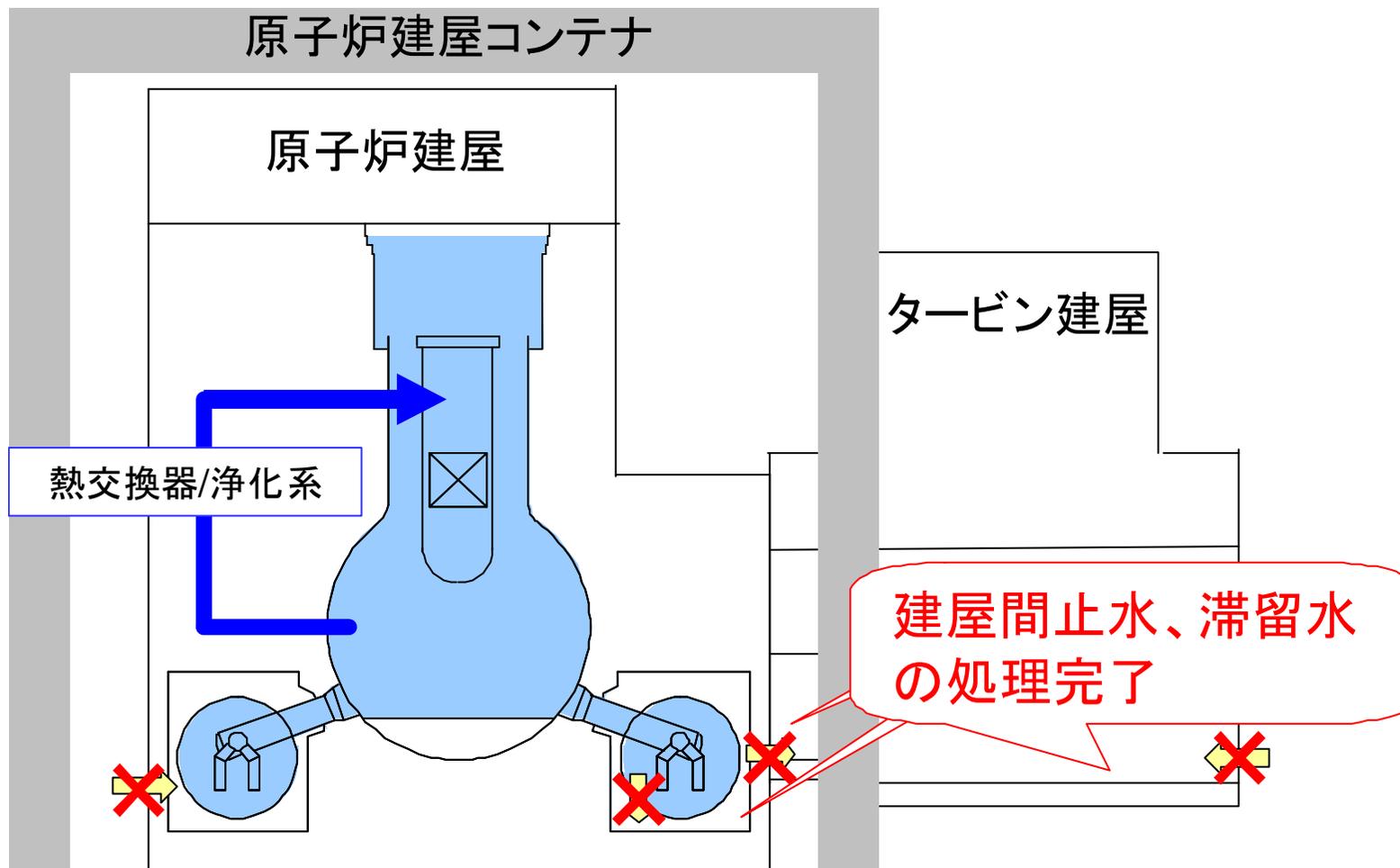
# リスク低減方策のイメージ

## (5)高台炉注水ポンプの仮設ハウスの恒久化対策



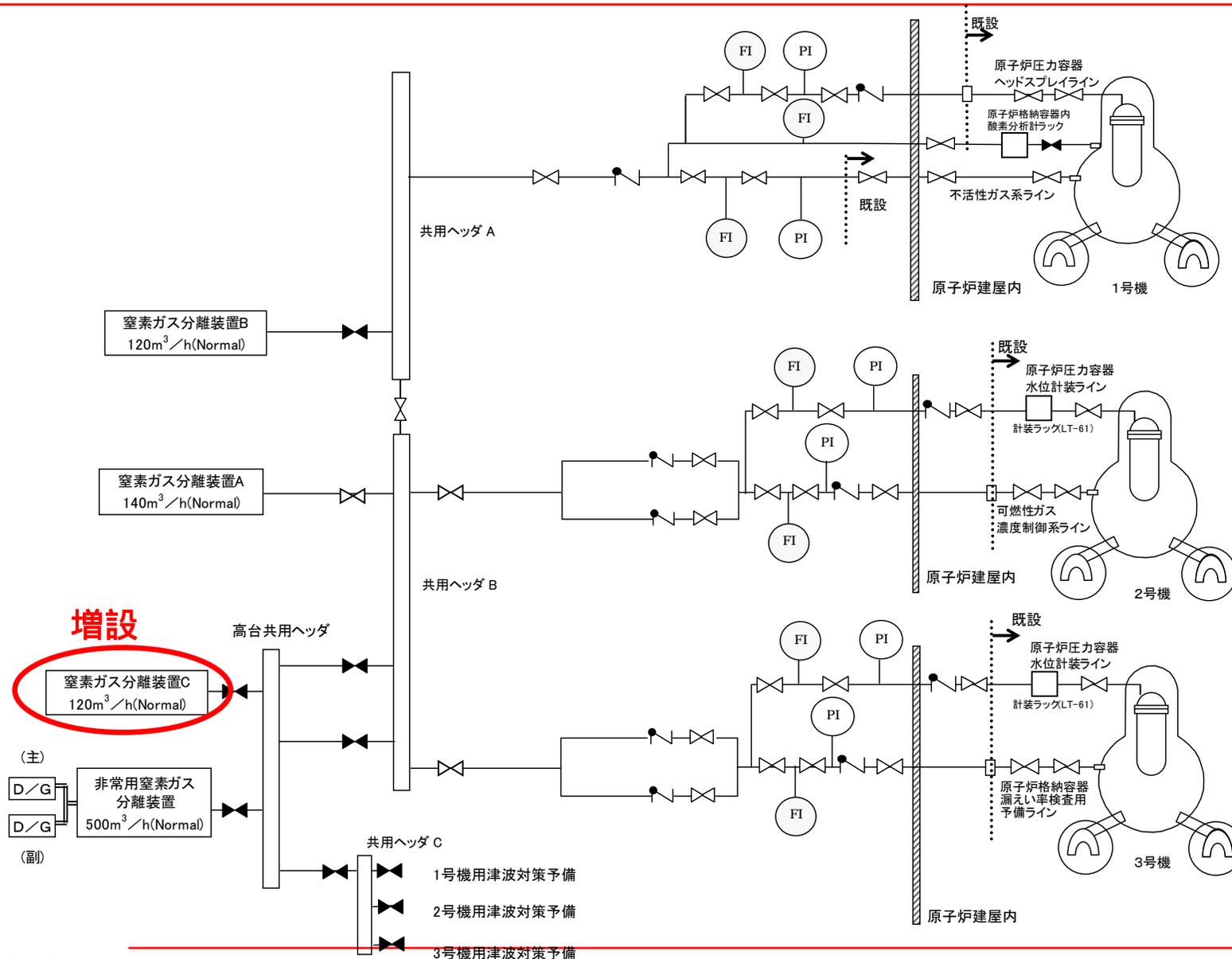
# リスク低減方策のイメージ

## (6) 建屋内循環ループ構築



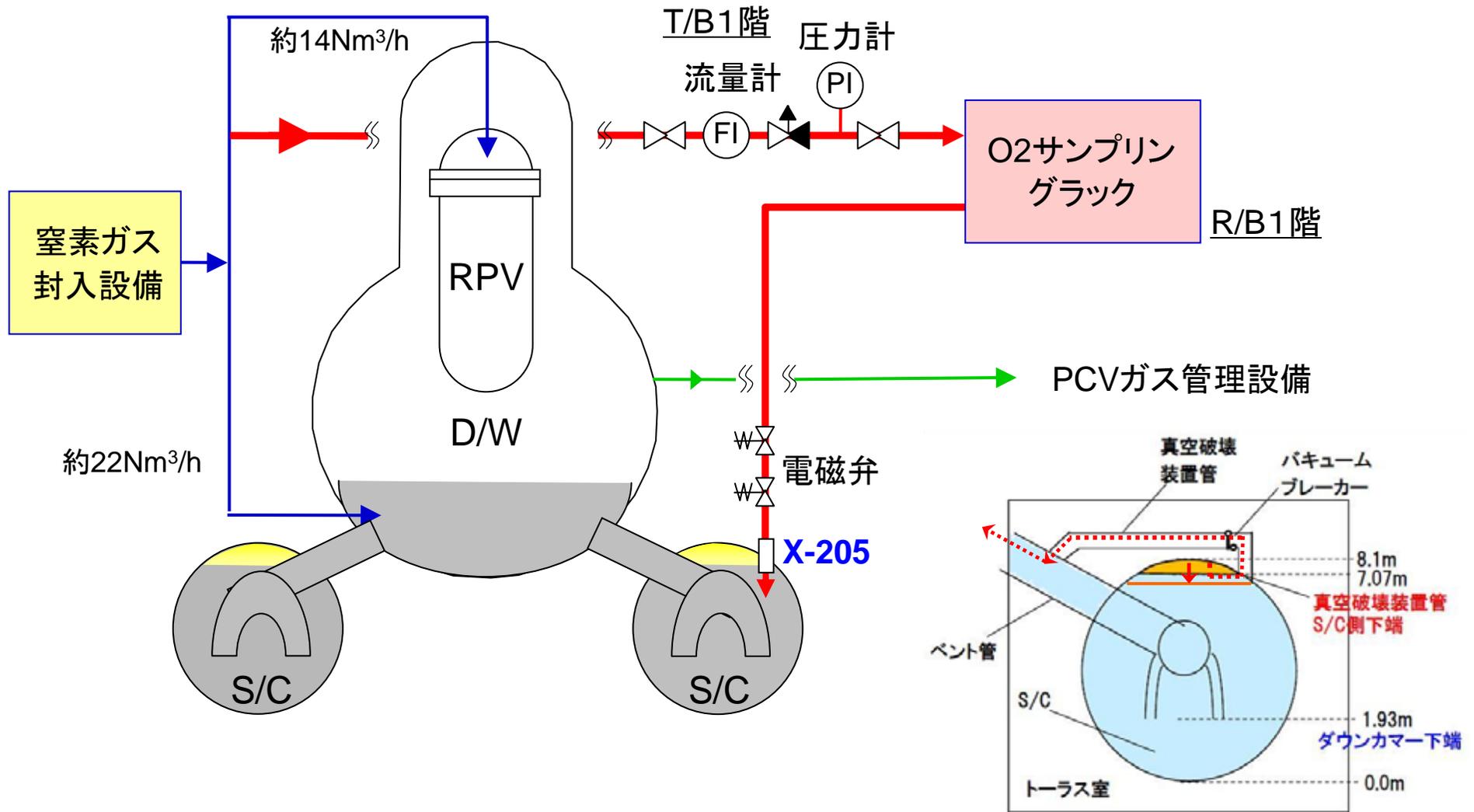
# リスク低減方策のイメージ

## (7)窒素供給装置の増設



# リスク低減方策のイメージ

## (8)水素の滞留が確認された機器への窒素ガス封入



(例) 1号機サプレッションチェンバ窒素封入

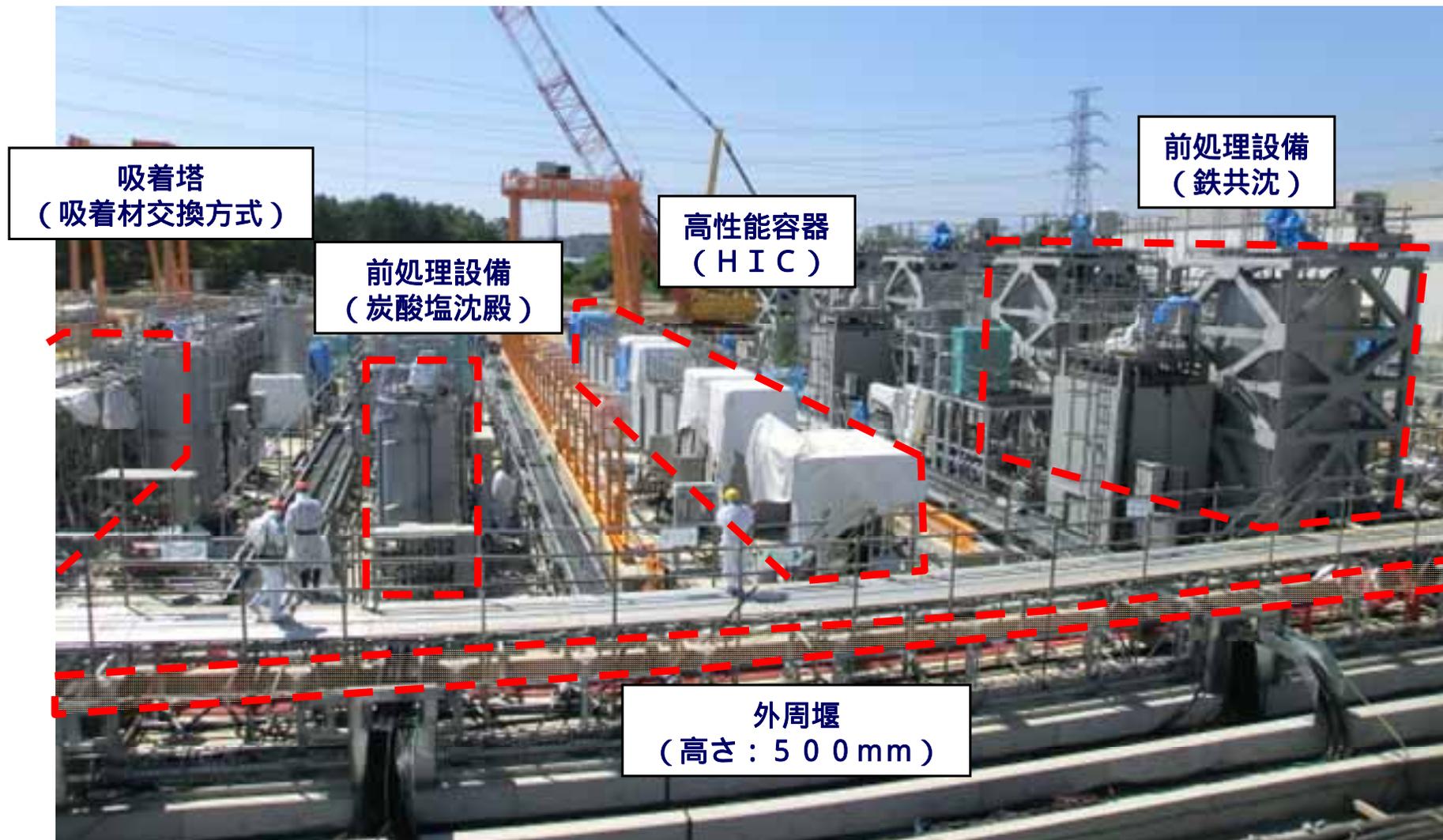
# リスク低減方策のイメージ

## (9) タンクのリプレースのイメージ



単位面積あたりの貯蔵量の大きいタンクにリプレースすることにより、  
汚染水処理設備の処理水等の貯蔵箇所を確保

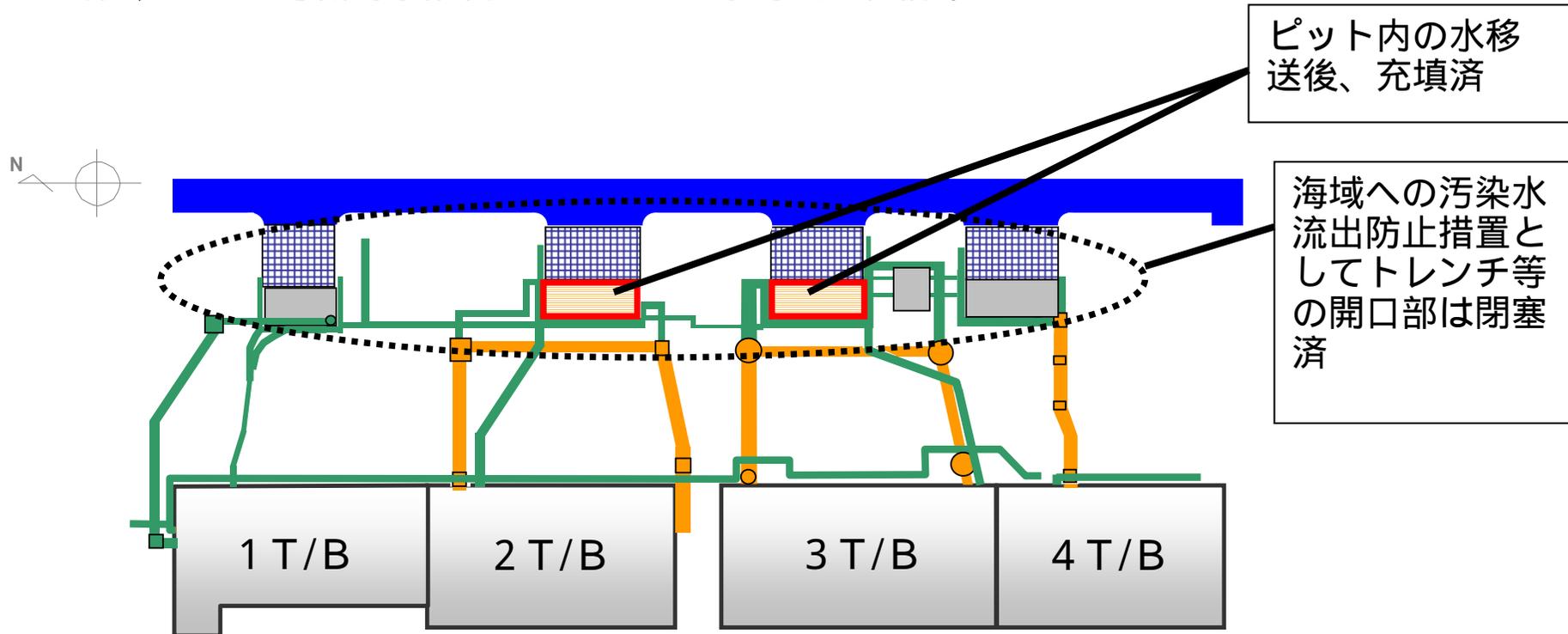
# リスク低減方策のイメージ (10)多核種除去設備の設置



# リスク低減方策のイメージ

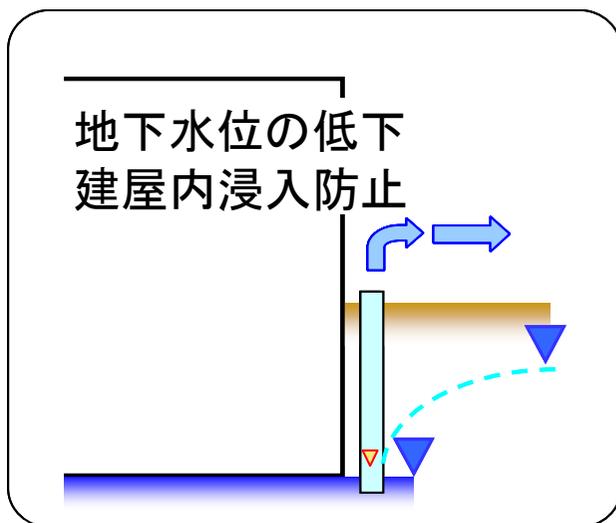
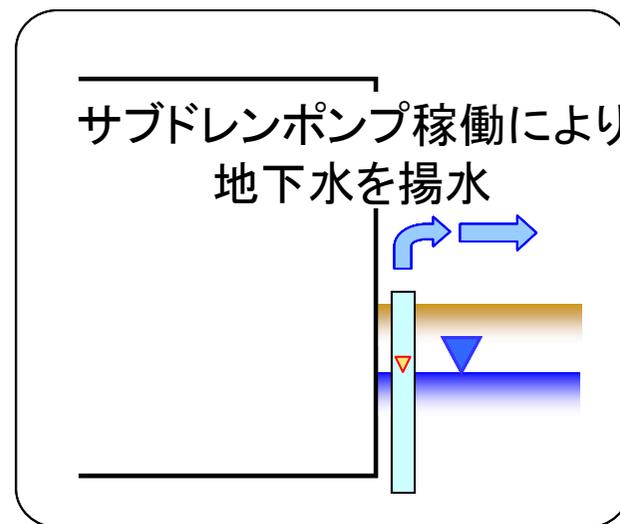
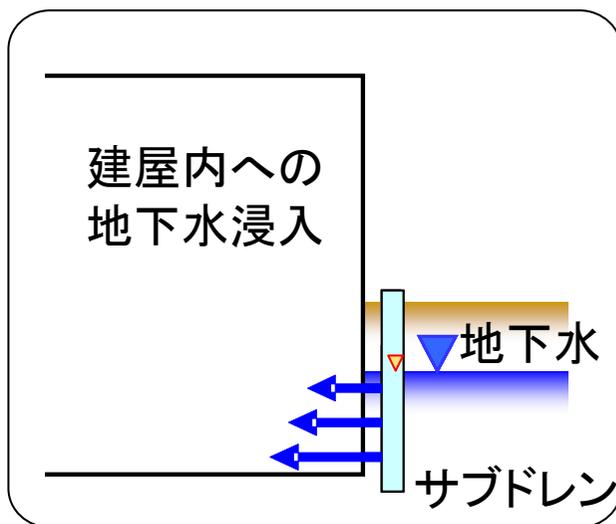
## (11) トレンチの止水、充填、汚染水の回収

- ・ 海域への汚染水流出防止措置として海側のトレンチ等の開口部は閉塞済み（H23年6月）
- ・ ピット内の水移送後、充填済（2号機：H24年4月、3号機：H24年5月）
- ・ 現在、2～4号機海水配管トレンチの止水方法を検討中



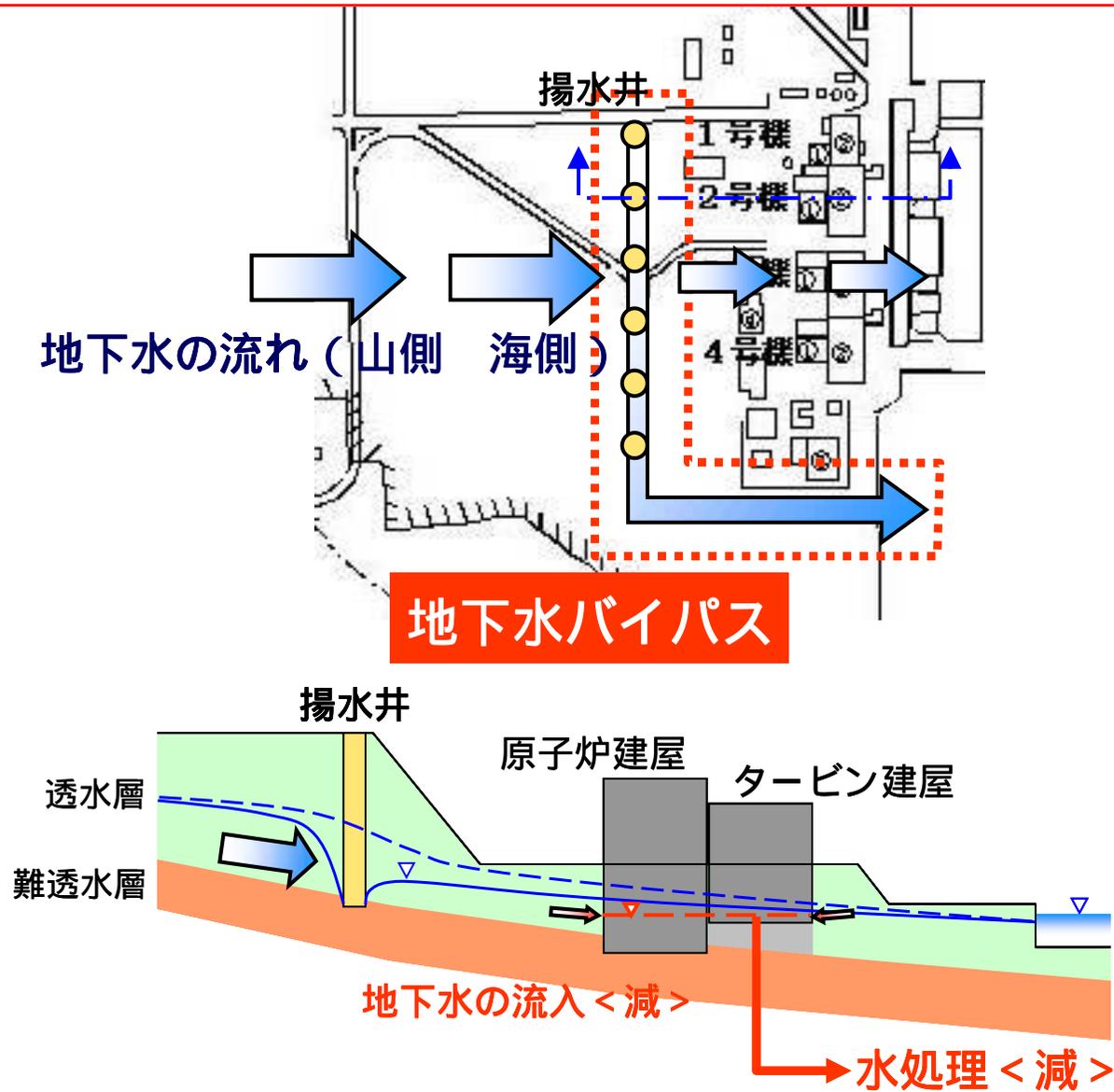
凡例  : 高濃度汚染水が滞留しているトレンチ等

# リスク低減方策のイメージ (12)サブドレンの復旧



サブドレンピット内部

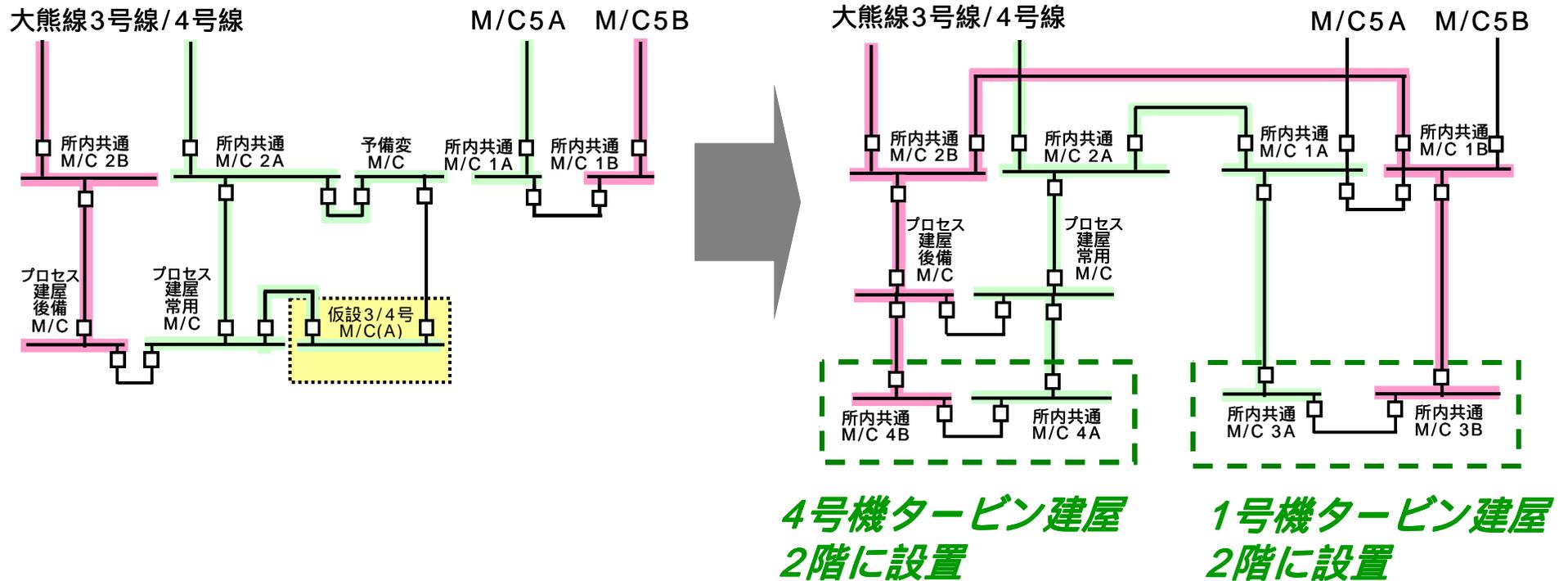
# リスク低減方策のイメージ (13)地下水バイパス



# リスク低減方策のイメージ

## (14)タービン建屋内所内高圧母線設置及び重要負荷の供給元変更(1/2)

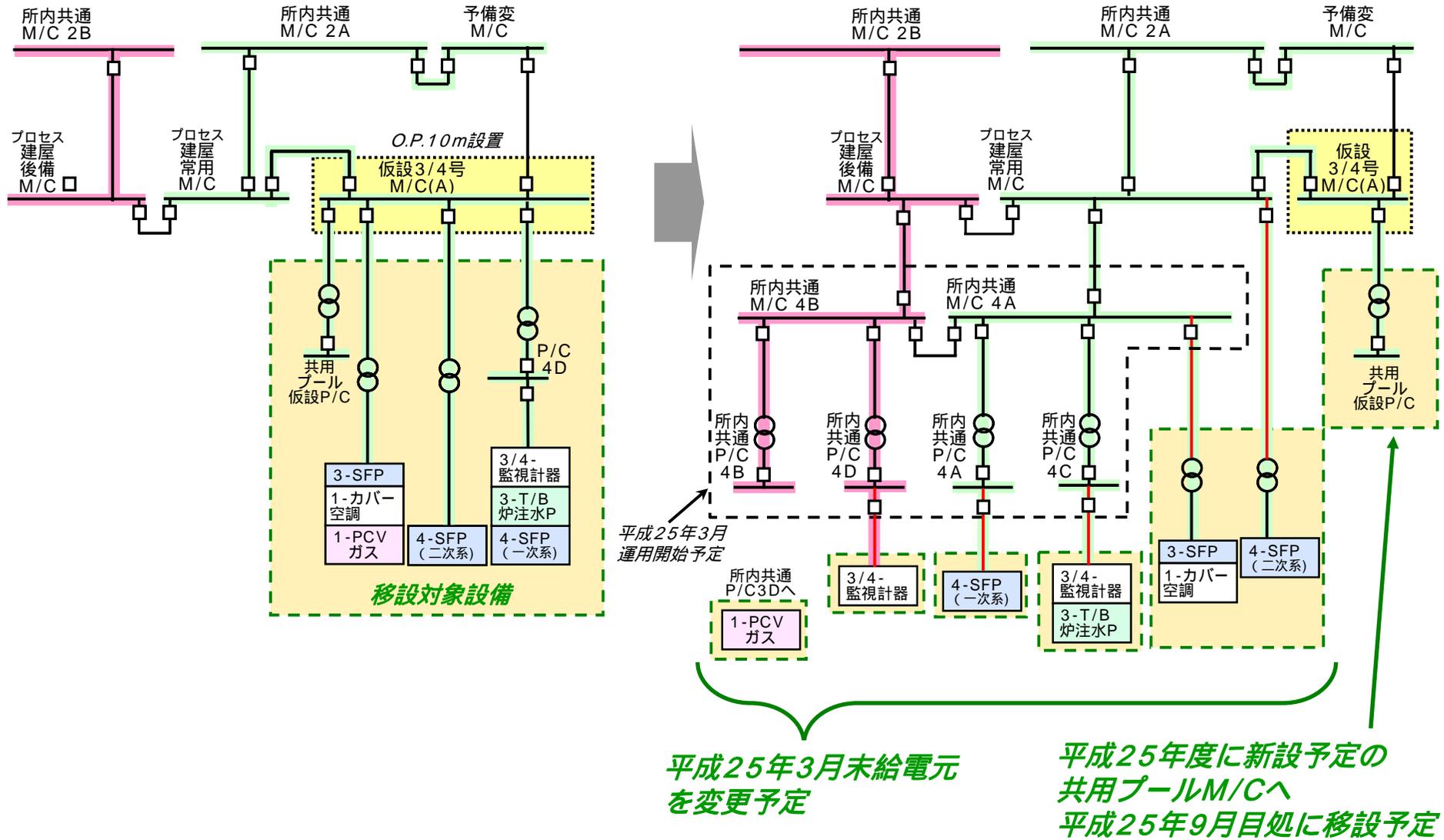
### タービン建屋内所内高圧母線設置



# リスク低減方策のイメージ

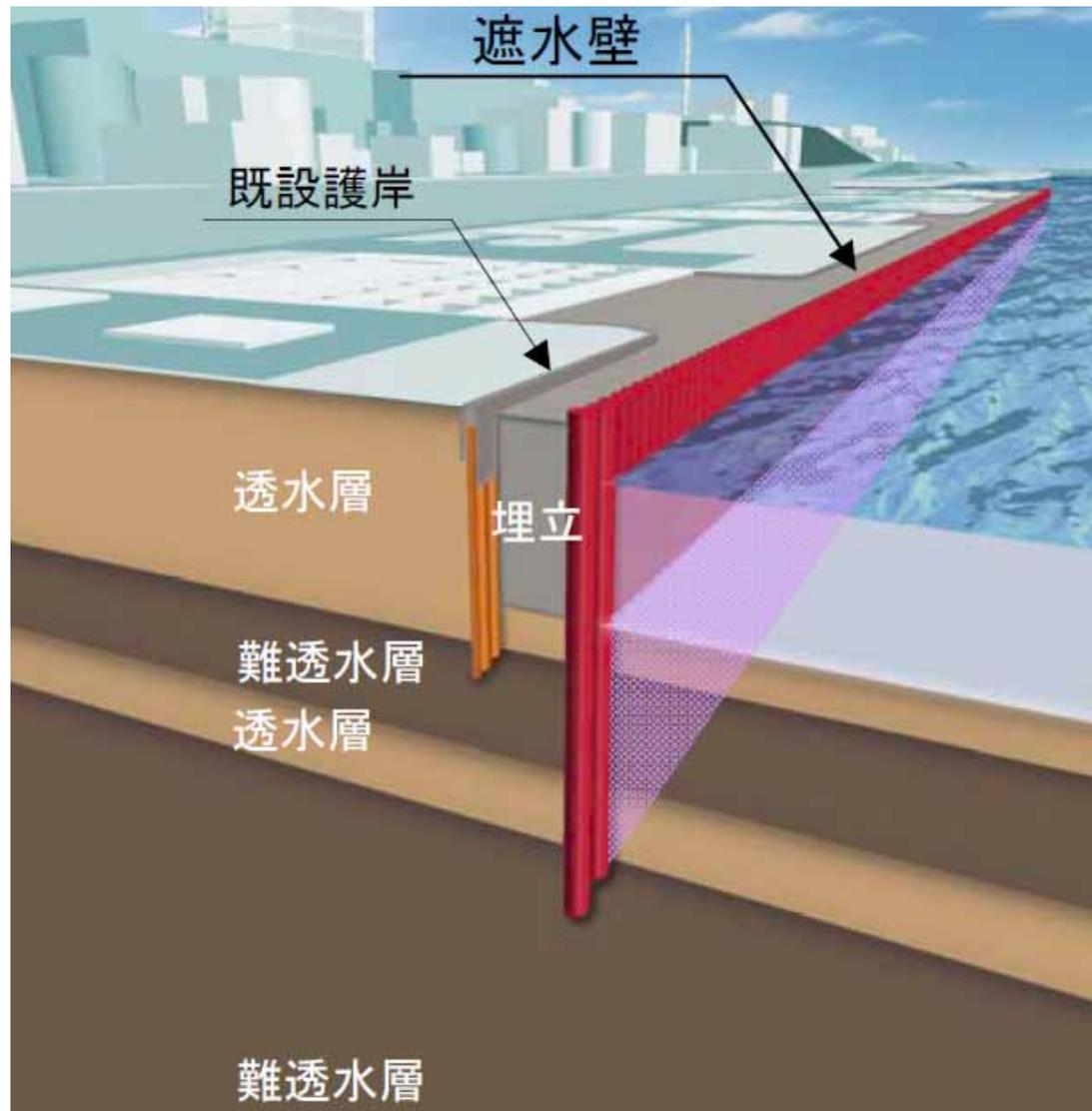
## (14)タービン建屋内所内高圧母線設置及び重要負荷の供給元変更(2/2)

### 重要負荷の供給元変更





# リスク低減方策のイメージ (16)遮水壁の設置



# リスク低減方策のイメージ

## (17)港湾内海底土の被覆

---

1～4号被覆前海底状況  
(2012/2/26撮影)

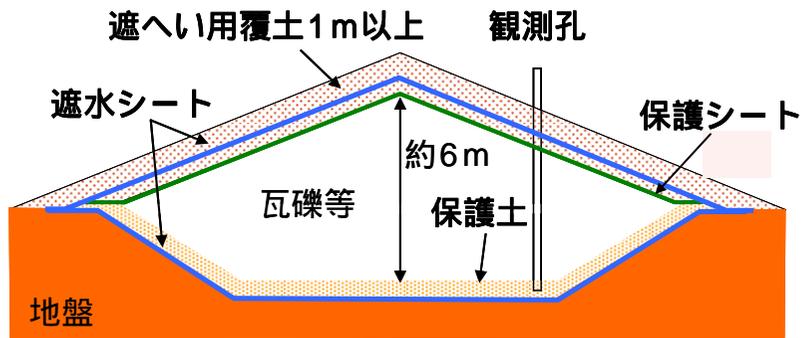


1～4号2層目被覆後海底状況  
(2012/4/29撮影)



# リスク低減方策のイメージ

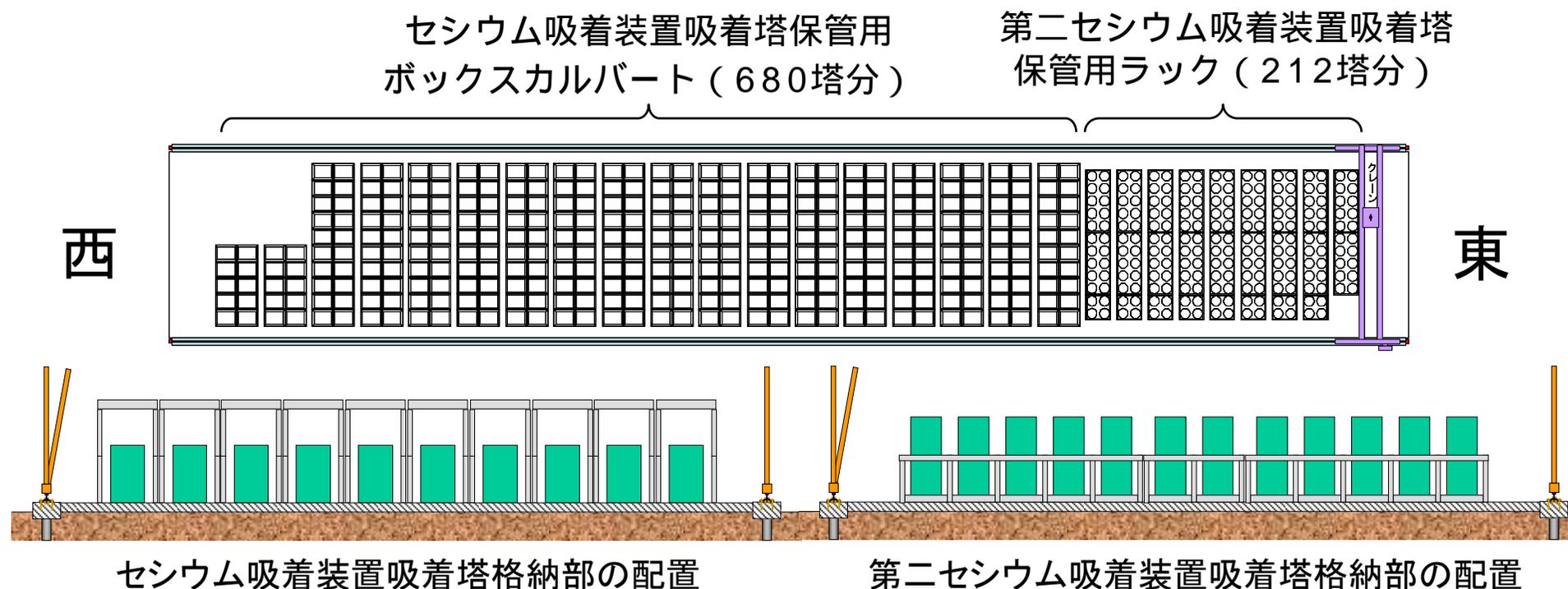
## (18)瓦礫等の覆土式一時保管施設



# リスク低減方策のイメージ

## (19)使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）の設置

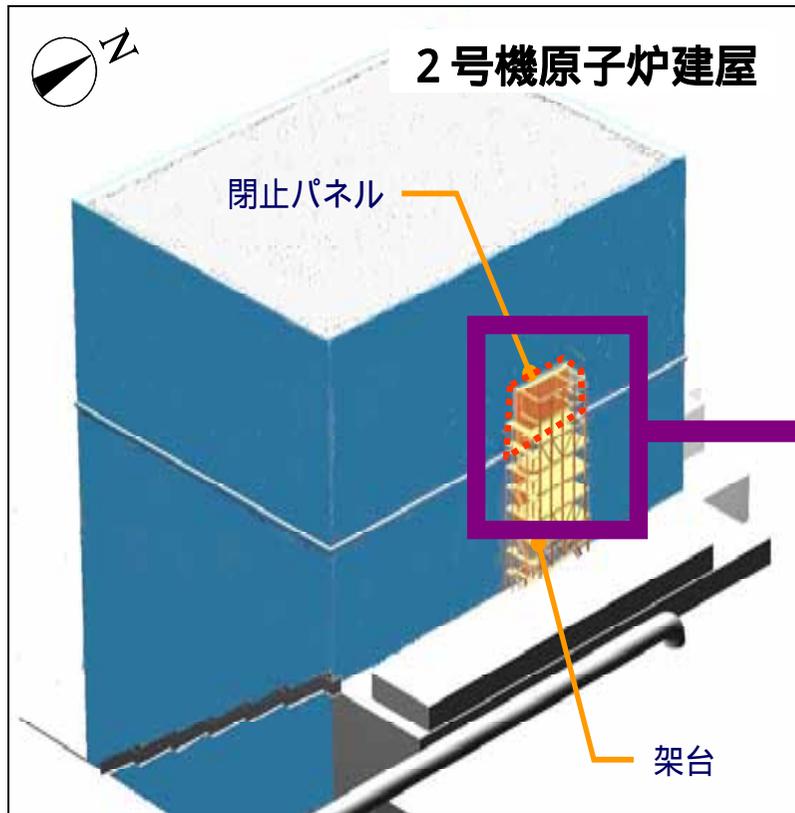
使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）概要（建設中）



敷地境界線量低減の観点から、現在吸着塔を保管している施設では遮へいを追加設置する。第四施設完成後はそれらの吸着塔を敷地境界から遠い当施設に移動する

# リスク低減方策のイメージ

## (20) 2号機ブローアウトパネルの閉止





# リスク低減方策のイメージ

## (22)敷地内の除染計画の策定・実施

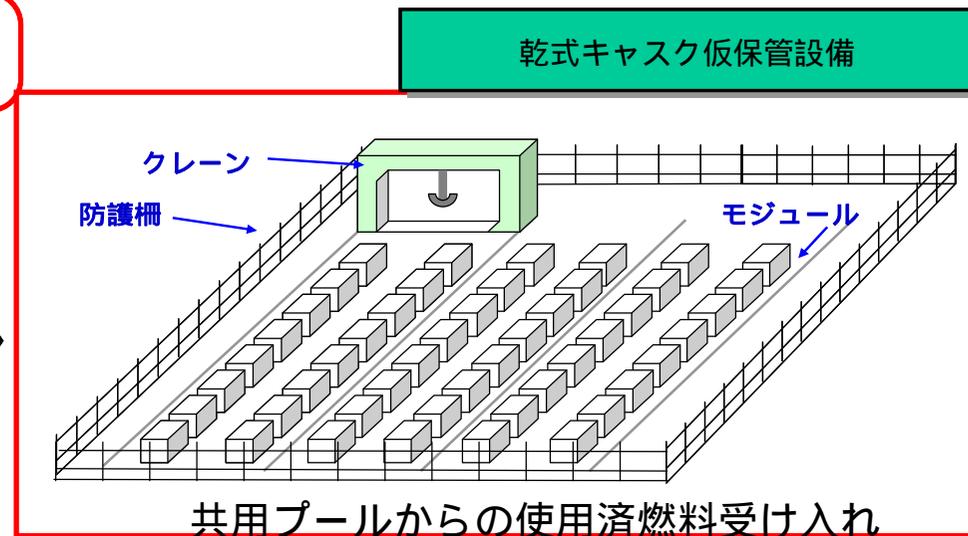
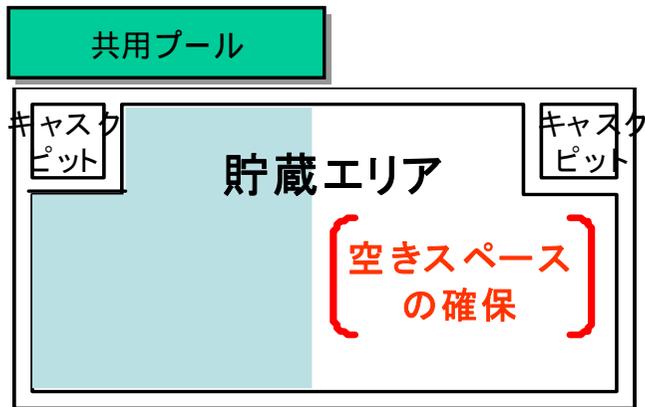
多くの作業員が立ち入る場所の線量低減を図る観点から、対象箇所を選定し、各ステップに示す範囲で目標線量率を設定して除染を行う。目標線量率は、各ステップごとに段階的に下げていき、最終的に事故前の状態に近づけていくことを目指す。



# リスク低減方策のイメージ

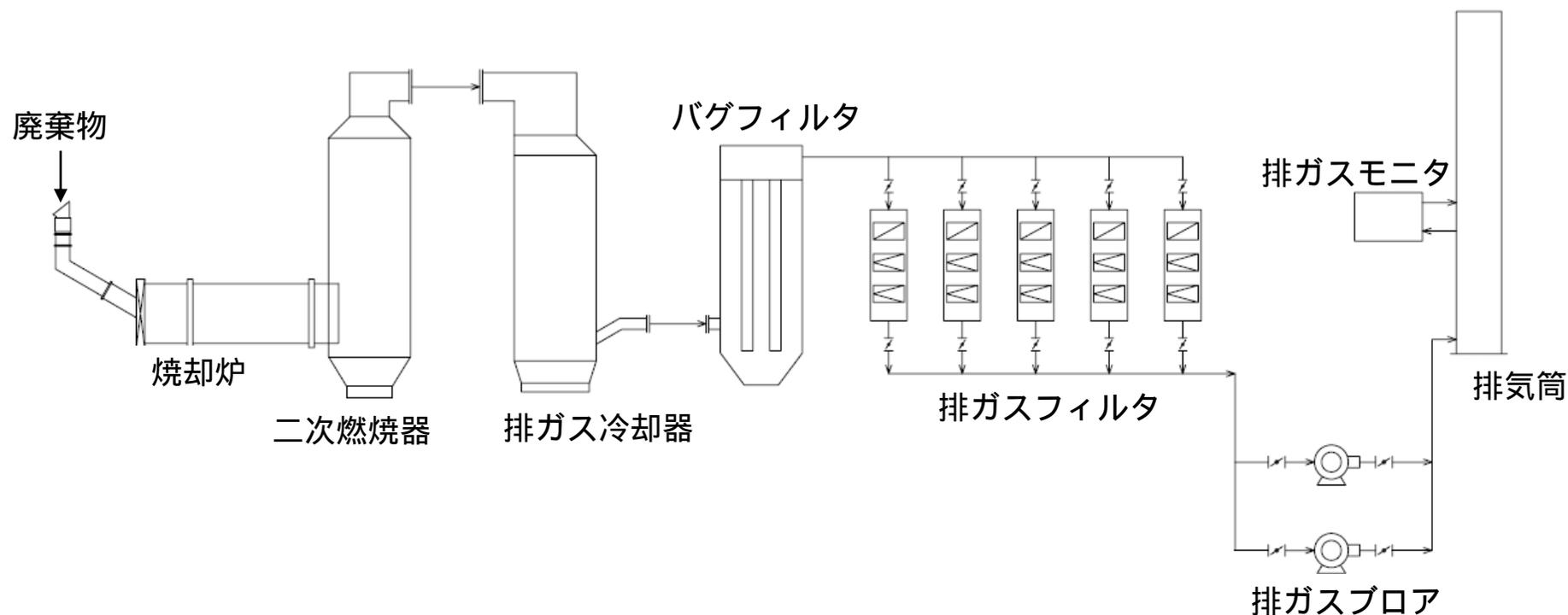
## (23)使用済燃料プールから共用プール、 共用プールから乾式キャスク仮保管設備への燃料移動

共用プールに空きスペースを確保した上で、取り出した燃料を移動して保管



# リスク低減方策のイメージ

## (24)雑固体廃棄物焼却設備の設置



炉型	ロータリーキルン式
処理容量	300kg/h 2基 (24h/日稼動)
系統DF	10 <sup>6</sup> 以上
設置予定地	1F 5/6u北側ヤード(双葉町側) (建屋寸法:約45m×約69m×約26.5m)

# リスク低減方策のイメージ (25)防火帯の形成・維持

